

## 事務局修正箇所一覧（区域施策編）

No.	箇所	修正事項	備考
①	素案(3月)P2 素案(修正版)P2 第1章	<p>&lt; 4. 計画期間等 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・[計画期間等一覧]の現状年度を、㉠：温室効果ガス排出量(推計値)の現状年度と、㉡：取組の進行管理のために設定する「取組指標」の現状年度の2つの区分に整理するとともに、表の体裁を変更し、注釈を追加</li> </ul>	
②	素案(3月)P9 素案(修正版)P10 第3章	<p>&lt; 4. 再生可能エネルギー &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省作成の自治体排出量カルテのデータ修正に伴い、令和2(2020)年度における当市の電気使用量、電気使用量に対する再生可能エネルギー導入比、当市における太陽光発電導入のポテンシャルに対する導入量を下線部分のとおり変更し、[市内の再エネ導入ポテンシャルと再エネ導入量(電力)]の表を差替</li> </ul>	
③	素案(3月)P10 素案(修正版)P11 第4章	<p>&lt; 1. 二酸化炭素排出量の推移 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2(2020)年度の当市の二酸化炭素排出量推計値の修正に伴い、[市内の二酸化炭素排出量の推移]の2020年の数値を「369.0」から「375.3」に変更</li> </ul>	※1参照
④	素案(3月)P10 素案(修正版)P12 第4章	<p>&lt; 2. 部門別二酸化炭素排出量 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2(2020)年度の当市の二酸化炭素排出量推計値の修正に伴い、[2020(令和2)年度の二酸化炭素排出量の部門別割合]について、産業部門の割合「48.7%」を「48.5%」に変更するなど、各部門の割合の数値を変更</li> </ul>	※1参照
⑤	素案(3月)P13～15 素案(修正版)P15～18 第5章	<p>&lt; 第5章全体 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2(2020)年度の当市の二酸化炭素排出量推計値の修正に伴い、現状年度及び目標年度の排出量を変更したため、その内容を[2. 温室効果ガス排出量削減目標設定の考え方]の下線部分のとおり各項目に反映(温室効果ガス排出量の削減目標及び国と連携した取組などによる削減量見込に変更は無く、施策自体への影響はないもの)</li> <li>・修正前素案の[温室効果ガス削減目標の内訳]、[BAUと目標値との比較]、[BAU比削減量の内訳]の表を統合し、掲載位置を変更</li> <li>・【参考】国の温室効果ガス排出削減目標の掲載位置を変更</li> </ul>	※1参照 ※2参照

⑥	素案(3月)P16 素案(修正版)P19 第6章	<第6章全体> ・地球温暖化対策の推進に関する法律と本計画の施策の関係の説明を追加し、同法第21条第3項の区分の内容とSDGsの関係を表形式で整理	
⑦	素案(3月)P16~20 素案(修正版)P21~24 第6章	<第6章全体> ・1~4までの各施策における取組の内容及び主体・部門を表形式で整理  <3. 地域環境の整備及び改善> ・取組指標について、令和3年度(2021)年度の市民一人あたり年間平均バス利用回数の修正に伴い、現状年度・目標年度ともに「34.9回」から「34.4回」に変更	
⑧	素案(3月)P29 素案(修正版)P33 資料4	<「温室効果ガス排出量削減目標の内訳」> ・令和2(2020)年度の当市の二酸化炭素排出量推計値の修正に伴い、各数値を下線部分のとおり変更	※1参照 ※2参照
⑨	素案(修正版)の下線部分のうち、上記①から⑧までの修正事項及び「御意見・ご質問に対する回答(区域施策編)」で示した修正事項以外は、計画内容の主旨を変更しない範囲内の軽微な修正(字句の訂正、用語の整理、表現の変更など)		

※1) 令和2年度の八戸市における二酸化炭素排出量の修正について

令和2年度分の東北電力㈱の二酸化炭素基礎排出係数は「0.000519」だが、誤って令和3年度分の係数である「0.000476」を算定に用いていたものであり、八戸市における二酸化炭素排出量(推計値)を「3,689,672トン」から「3,752,861トン」に修正。

※2) 温室効果ガス削減目標の内訳

(単位:千トン)

区分	基準年度	現状年度		目標年度			
	平成25年度 (2013)	令和2年度 (2020)		令和12年度(2030)			
				BAU①		目標値②(対基準年度)	
産業部門	(変更無) 2,213	変更前 1,795	変更後 1,822	変更前 1,795	変更後 1,822	変更前 1,264(-42.9%)	変更後 1,245(-43.7%)
業務その他部門	(変更無) 324	変更前 227	変更後 242	変更前 227	変更後 242	変更前 140(-56.8%)	変更後 145(-55.2%)
家庭部門	(変更無) 667	変更前 506	変更後 528	変更前 461	変更後 480	変更前 267(-60.0%)	変更後 269(-59.7%)
運輸部門 ～吸収源対策	省略(変更無)						
合計	(変更無) 4,478	変更前 3,732	変更後 3,796	変更前 3,636	変更後 3,697	変更前 2,234(-50.1%)	変更後 2,222(-50.4%)

目標年度におけるBAUと目標値の差(①-②)		変更前 1,402	変更後 1,475
内訳	電力基礎排出係数の低減による削減量見込	変更前 619	変更後 692
	国と連携した取組などによる削減量見込	(変更無)783	